

## (仮称) 佐久南インターチェンジ花・みどりの景観～植樹事業

### 取組に至る背景・事業の目的

中部横断自動車道佐久南インターチェンジの周辺は、佐久平の田園風景が広がり、浅間山や荒船山等が眺望できるなど景観に恵まれた地域である。

この良好な景観が将来にわたり保全されるよう、地元小学生等地域住民の景観意識の向上を図り、住民参加によりインターチェンジ周辺への植樹を実施することで良好な沿道景観の形成を図ることとした。



【「ねむの木」の植樹作業】

### 事業内容

- 11月1日及び14日の2日間にわたり、小学生189名及び地域住民とともに、「ねむの木」90本を佐久南インターチェンジにアクセスする国道142号の歩道に植樹した。
- 植樹記念の看板4基を作成し設置した。なお、植樹箇所が屋外広告物規制地域であるため、デザインや素材は景観に配慮した。
- 樹種は、地区の住民代表と協議し、近郊にあるねむの木の並木との調和を考慮して選定した。
- 植樹に参加する小学生に対して、植樹に先立ち、景観づくりへの理解と関心を高めるため、景観授業を実施した。



【景観に配慮した看板】

### 事業効果

- インターチェンジの東西それぞれに約600mと約200mのねむの木の並木ができ、みどりの潤いある沿道景観が形成された。
- 植樹前に実施した地元地区との協議や小学生への景観授業により、地域住民の景観意識の向上が図られた。
- 植樹後の沿道景観の保全を目的として地元住民の参加を募り、「佐久南インター景観をつくる会」が発足した。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 国道142号の植樹箇所周辺は、インターチェンジの開通に向けて拡幅工事期間中であったため、植樹日程の調整、植樹時の十分な安全確保等に腐心した。
- 植樹したねむの木は、「佐久南インター景観をつくる会」で、地域参加型の道路里親活動であるアダプトシステム事業として管理し、あわせて花やみどりの植栽を行い、沿道景観の向上を図っていく。

#### 【選定のポイント】

植樹前に地元地区との協議や小学生への景観授業が行われ、地域住民の景観意識の向上が図られ、また、事業終了後に、地元小学校児童、地域住民及び申請団体で構成される会が発足され、沿道景観づくりや植栽の維持管理活動が実施されている。

団体名	社団法人長野県建築士会佐久支部 (佐久市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話 0267-63-8080	事業費	2,803,235円
ホームページ	<a href="http://www.aba-saku.org/">http://www.aba-saku.org/</a>	支援金額	2,505,000円
メールアドレス	ken8080@aba-saku.org		